

# 令和5年度 地域少子化対策重点推進交付金 採択事例集

## 1 結婚に対する取組

事例No. ・掲載P	項目	取組内容	自治体名
01	自治体間連携を伴う 結婚支援の取組	県・市町が連携し、企業・団体・地域住民を巻き込んだ結婚支援の取組を推進	長崎県
02		県・市町で「みえ結婚支援プロジェクトチーム」を設置し、広域的な出会いの場を創出	三重県
03	結婚支援センターの 開設・運営 マッチングシステムの 構築	縁結びボランティアによる支援にAIシステムが融合したハイブリッド型結婚支援	石川県
04		AIを活用したマッチングシステムの導入による効果的な出会い支援	大分県
05		県や移住部署と連携した移住×婚活の取組	駒ヶ根市 (長野県)
06		複数の自治体で構成される広域行政事務組合による広域的な結婚支援	有明行政 事務組合 (熊本県)
07	結婚支援ボランティア等 育成・ネットワーク化	結婚支援ボランティア等育成モデルプログラムを活用した研修等の実施	秋田県
08		結婚支援ボランティアの育成、組織化・ネットワーク化	島根県
09	若い世代向けの 総合的な ライフデザインセミナー	若者の主体的なライフデザイン構築を支援・発信	群馬県
10		仕事と育児の両立体験やワークショップ等によるライフデザイン支援	京都府
11	企業等と連携した 結婚支援	企業との連携を含め地域が一体となって出会いから結婚までをサポート	新潟市 (新潟県)
12	出逢いコンシェルジュ を活用した結婚支援	出会いイベントの開催や出会い・結婚に向けた機運醸成に取り組む“令和版お世話焼きさん”	安芸市 (高知県)

## 2 結婚、妊娠・出産、子育てに 温かい社会づくり・機運醸成の取組

事例No. ・掲載P	項目	取組内容	自治体名
13	自治体間連携を伴う 機運醸成の取組	官民協働組織を中心に、総合的な機運醸成の取組を実施	長野県
14		県・市町が連携し、県下全域において男性の子育て参画を推進	和歌山県
15	男性の育休取得と 家事・育児参画促進	男性の育児参画を促進する取組を複合的に実施	岐阜市 (岐阜県)
16	子育て支援情報の 「見える化」と 相談体制の構築	「聞きなっせAIくまもと」によるLINEを活用した子育てサポート	熊本県
17	多様な子連れ世帯が 外出しやすい環境の整備	「とよなか子育て応援団」登録制度による子連れ外出しやすい地域づくり、子育てに温かい機運醸成	豊中市 (大阪府)
18	多様な働き方の 実践モデルの取組	多様な働き方を応援 ～「子どもが遊べる・楽しめる」×「子どもを連れてワーク」～	富士市 (静岡県)
19	乳幼児等との ふれあい体験	学生が乳幼児等との触れあいやその親との交流を体験する機会の提供	徳島県
20	結婚応援パスポート 子育て支援パスポート	県と企業・店舗が連携し、新婚世帯及び子どもがいる世帯が対象の応援パスポート事業を実施	宮城県
21	民間の取組を通じた 地域全体での機運醸成	地域で子育てを応援する機運醸成を図る取組を実施	佐倉市 (千葉県)

## 3 結婚新生活支援事業に関する取組

事例No. ・掲載P	項目	取組内容	自治体名
22	結婚新生活支援事業 に関する取組	県と市町・関係団体が連携して結婚・子育てを応援する機運を醸成	滋賀県
23		効果的な広報及び窓口案内による認知度向上、支給世帯増	うきは市 (福岡県)

# 県・市町・民間団体の連携による結婚支援事業の一体的な展開【長崎県】

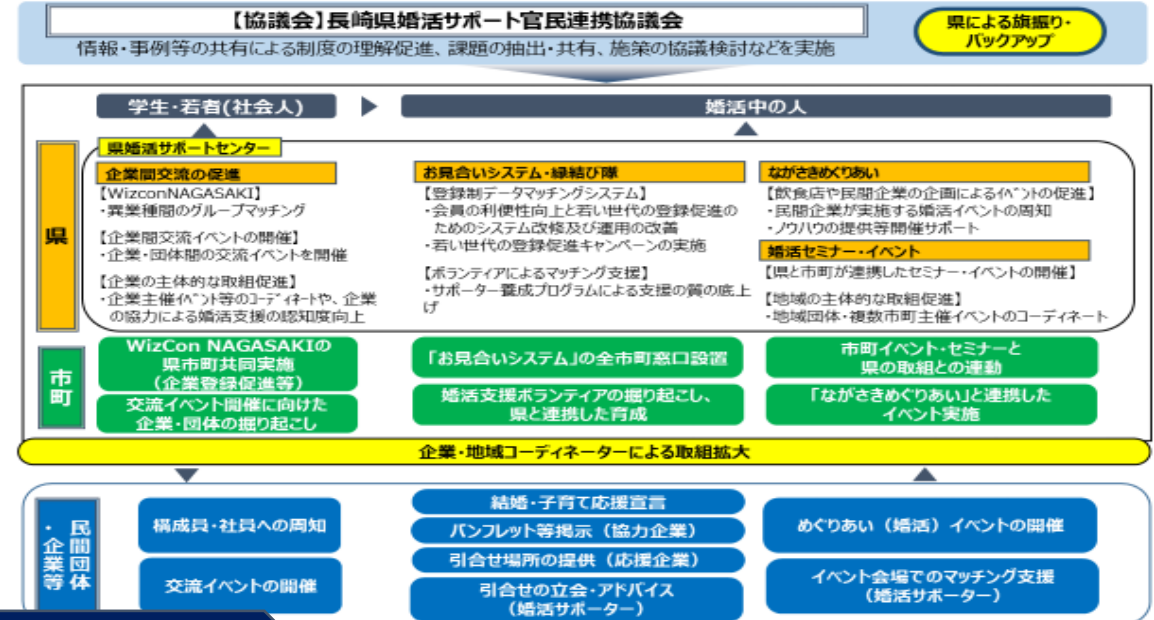
## 県・市町が連携し、企業・団体・地域住民を巻き込んだ結婚支援の取組を推進

22,817千円（令和4年度当初、実績額）  
57,053千円（令和5年度当初、見込額）

### 事業概要

- 県が主体となり、市町と連携して実施する多様な出会いの支援
- **民間企業や地域住民を巻き込んだ結婚支援の取組**
- 民間企業などによる主体的な取組支援

### 県・市町が連携し、企業・団体・地域住民を巻き込んだ結婚支援の取組



### 特徴的取組・成果

- ・自治体間の連携強化による、効率的な事業の実施（成婚者数98組：R4実績）  
 → お見合いシステム窓口の全市町への設置、婚活サポーターの掘り起こし・育成、結婚支援イベント・セミナーの開催等**県下一体的な取組の実施**
- ・地域住民への取組促進（市町コーディネーターの活動回数205回：R4実績）  
 → 店舗等の協力による結婚支援の取組周知やコーディネーター発案による隣接市町合同イベント開催
- ・地元企業への取組促進（セミナー開催数4回：R5.6.時点）  
 → 地元企業主催の交流イベントのお見合いシステム・婚活サポーターを介した周知、**業種別組合、経済団体の会合等でのセミナーの開催**



（婚活サポーター情報交換会）

## みえで出会エール結婚支援連携事業【三重県】

県と市町で「みえ結婚支援プロジェクトチーム」を設置し、広域的な出会いの場を創出

## 事業概要

- 県と市町が連携し、**地域課題の検討や情報交換を実施**
- 「地域PT」において内容等を検討**し、「みえ出逢いサポートセンター」が中心となり、**市町と協働で事業を実施**
- 連携事業や、県内各市町の結婚支援・子育て支援の最新情報をホームページ等で提供



## 特徴的取組・成果

## みえ結婚支援プロジェクトチーム

全県PT会議（県・全29市町、年2回）

地域PT（県・23市町）

連携・協働



三重県

みえ出逢い  
サポートセンター

- 県内出会いイベント等の情報提供
- 相談支援 □企業・市町の取組支援

○3圏域で年2回会議…共同事業の企画、取組結果共有、課題等の検討

○各地域において、県と複数市町が連携した広域的な共同事業の実施

- ✓出張相談会、婚活イベント、婚活・自分磨きセミナーなど
- ✓市町や移住担当部署と連携して、結婚・子育てや地域の魅力を県内外に発信
- ✓土日オンライン相談会の実施

共同事業開催実績  
18日間・参加者231名市町での交付金事業  
(津市、いなべ市、紀宝町)結婚新生活支援事業  
(R4:6市町)

市町単独事業

## いしかわ結婚支援推進事業 / いしかわ版AIマッチング支援事業【石川県】

## 縁結びボランティアによる支援にAIシステムが融合したハイブリッド型結婚支援

27,094千円（令和4年度当初、  
3年度補正、実績額）  
16,993千円（令和4年度補正、見込額）

## 事業概要

- 従来から成果を上げているボランティア「**縁結びist**」によるお見合い仲介事業と新規導入の**AIマッチングシステムの併用**で、**ハイブリッド型の結婚支援を実現**
- 既存の縁結びイベントも加えた3事業を愛称「**あいきゅん**」とし、利用者ニーズに柔軟に対応



いしかわの  
縁結びで  
「きゅん」  
とする出会い  
見つけよう！

「あいきゅん」ロゴマーク

## 特徴的取組・成果

## 縁結びistによるお見合い仲介

- 平成17年度からボランティアで独身男女の結婚相談やお見合いのお世話(仲人役)を行う「縁結びist」を養成、活動を開始
- お見合い相手の紹介、出会いの場の提供、交際後フォロー等を行う

■縁結びistの人数:641人

■縁結びistを含む県の結婚支援事業による累計成婚数:1,266組

(いずれもR5.3.31時点)

## AIマッチングシステムによる出会い支援

- 令和4年度にAIマッチングシステムを新規導入(令和5年度本格稼働)
- ・スマートフォン等でお見合い相手を検索できる縁結びマッチングシステムを導入
- ・縁結びマッチングシステムで成立したお見合いにも「縁結びist」が立ち会い、サポートを行う

(事業イメージ) 利用者は3つの事業を自由に選択可能



# おおいた出会い応援事業【大分県】

## AIを活用したマッチングシステムの導入による効果的な出会い支援

25,209千円（令和3年度補正、実績額）  
8,101千円（令和4年度補正、見込額）

### 事業概要

- 結婚を希望する若者を応援するため、会員制の1対1のお見合いサービスや婚活セミナー等を実施する「**OITAえんむす部出会いサポートセンター**」を設置（H30.6月）
- AIを活用したマッチングシステム**を導入し、価値観診断テストをもとに相性が良いと思われる相手を自動で紹介することで、出会いの機会創出をさらに後押し（R4.12月）



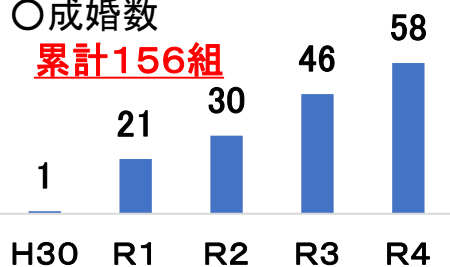
（OITAえんむす部  
出会いサポートセンター）

### 特徴的取組・成果

#### OITAえんむす部出会いサポートセンター

○成婚数

**累計156組**



会員登録者数  
（R5.3月末時点）

1,475人  
男性781人  
女性694人

お見合い実施  
（累計）

5,020件

○テレビCMやSNSを活用し、会員登録増に向けた情報発信。

**新規会員登録者数約2倍**（過去1年の月平均登録者数との比較）

#### 利用者の声

- ・県のサービスなので安心
- ・結婚支援員のサポートが充実していて、結婚に対する考え方を整理してお見合いに臨むことができた

約100回放送



約7万回視聴

テレビCM放送・YouTube等での広告配信

#### AIを活用したマッチングシステムの導入

○AIによるお相手の紹介

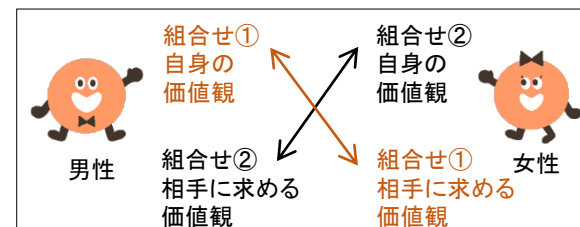
- ・価値観診断テスト（EQアセスメントテスト（112項目））に事前に回答することで、自身が重視する価値観と相手に求める価値観をクロスマッチング
- ・相性が良いと思われるお相手をAIが自動で紹介

○日程調整

- ・相談やお相手検索などの来所予約を会員マイページから登録可能
- ・お見合いが成立した会員同士でお見合い日程を調整。センター職員を介さずにスピーディな調整が可能に

**システム導入後、  
お見合い件数12%アップ**

R4.4月～12月 月平均89件  
R5.1月～3月 月平均100件



#### 利用者の声

- ・自身の検索とは異なる視点でAIが紹介してくれ、出会いの幅が広がった
- ・診断テストで自身の価値観と相手に求める価値観を知ることができた

## えがお出会いサポート事業【長野県駒ヶ根市】

## 県や移住部署と連携した移住×婚活の取組

801千円（令和4年度当初、実績額）  
3,569千円（令和4年度補正、見込額）

## 事業概要

- 移住と婚活を合わせて行う移住婚希望者の受入れ・相談・セミナー等の実施
- 結婚相談所や出会い支援ボランティア、セミナー等によるフォローアップ



県主催の移住×婚活セミナーで参加者に駒ヶ根市や出会い支援事業について説明する職員（結婚相談員もオンラインで参加）

## 特徴的取組・成果

## 出会い支援イベント・スキルアップセミナーの開催

- 平成28年度より市が直営する結婚相談所が中心となり、婚活イベントなどを実施
- 移住婚希望者登録専用サイトから移住婚希望者の紹介を受け、移住婚希望者とオンライン面談、プロフィールの作成
- 移住婚希望者向けのオンラインイベント・セミナー等の実施
- 希望者は移住担当者に繋げ、住居・就業等移住相談の実施

- 専用サイトからの紹介者数（R4.1～R5.3の累計）  
**計 92人（男性 21人、女性 71人）** うち 首都圏が 50人  
うち 女性の20歳代+30歳代 55人
- 相談所登録者の男：女比 **2：1（H28年度末）⇒ 1.3：1（R4年度末）**
- 移住婚希望者 **交際中 3組、移住予定者 1名（R4年度末）**
- 都市部の婚活希望者と地元登録者とのマッチングを実現**
- 市民課への婚姻届出数 112件（R4年）  
相談所への**成婚報告数 10組（R4年度）**

## 親世代向けセミナーの開催

- 未婚の子を持つ親や親世代向けの講演会を実施

- 結婚の障害になることがある親子関係について、**広く気づきの場を提供することが可能に**
- 親世代に、親世代が結婚をした当時と今の婚活との状況の違いを知ってもらい婚活を応援する機運を醸成

## ぶんつうによる出会い企画

- 県外の婚活者と地元の登録者を繋げる取組みとして、「ぶんつう de 恋結び」を実施。手書きの手紙を相談所を通して交換し、時間をかけてお互いの理解を深め合う企画。

- R3・4年度  
**応募 73人 ▶ 文通実施 21組 ▶ 連絡先交換 15組**

# 広域における持続可能な婚活支援事業【熊本県有明広域行政事務組合】

## 複数の自治体で構成される広域行政事務組合による広域的な結婚支援

482千円（令和4年度当初、実績額）  
6,888千円（令和5年度当初、見込額）

### 事業概要

- 2市4町で構成される有明広域行政事務組合が、荒尾・玉名地域結婚サポートセンター(通称:KOIBANA)を開設し、広域的な結婚支援を推進
- 婚活イベントの司会進行や会員検索システム開発を組合スタッフ自ら行うことで、利用者のニーズに的確に対応した取り組みを実施



(対面(オフライン)及びオンライン婚活イベントの様子)

### 特徴的取組・成果

#### 広域連携を利用したPR活動

##### ○県と連携した取組

- ・KOIBANAの婚活事業についてだけでなく、県の結婚支援に関する情報を掲載したリーフレットを配布
- ・KOIBANAのオンライン婚活や、荒尾・玉名地域の紹介などの最新情報を掲載したKOIBANAパンフレットを1000部作成し、県主催のマリッジフェス2022でのブース出展、福岡県福岡市で開催された女子旅エキスポでのPRイベント、KOIBANAでの婚活イベントで配布し、幅広い範囲の方へ周知



(PRイベントの様子)

#### 対面(オフライン)婚活イベントの開催

##### ○自治体と連携した取組

- ・計7回の対面(オフライン)の婚活イベントを開催
- ・構成市町と連携を図り婚活イベントを計画・実施  
→年間のイベントカップル成立率は参加人数に対して4割超
- ・収穫体験を中心に地域の特産品をPRしたイベントを実施  
→県内外から男女各11名が参加し、成立カップルは5組、うち1組はご成婚

#### KOIBANAの婚活支援の取組

##### ○オンラインによるサポート環境の整備

(2022年8月末  
カップル成立数1,024組)

- ・Zoomを活用し、オンラインによるサポートを実施
- ・公式LINEを開設することで会員が気軽にLINEで相談できる体制を整備

##### ○独自の会員検索システム(KOIBANA AI)の高度化

##### ○構成する2市4町の観光資源や地域資源を活用した婚活イベントの開催

##### ○圏域内企業・団体等と連携した独身男性を対象とした結婚に関するセミナーの開催

## 結婚サポータースキルアップ事業【秋田県】

## 結婚支援ボランティア等育成モデルプログラムを活用した研修等の実施

## 事業概要

- 結婚支援業務に必要な知識や技能のほか、**更なる質の向上を目指した研修会を開催**
- 結婚サポーター同士の連携を深めるための情報交換会を開催**

1,282千円（令和3年度補正、実績額）  
1,267千円（令和4年度補正、見込額）



(セミナーの様子)

## 特徴的取組・成果

## 「結婚サポーター」によるサポート

## ○結婚サポーター概要

- ・県に登録し、「出会い・結婚支援」をボランティアでサポート
- ・登録者数：246人（R5.4.1現在）
- ・主な活動内容：出会いや結婚に関するアドバイスや出会いイベントの企画・開催のお手伝い、あきた結婚支援センターの紹介 など

## ○課題

- ・地域で若い世代との接点がなく、結婚サポーターとしての活躍の場が少ない、また**活発に活動できていない。**
- ・結婚サポーター同士の交流が少なく、活動の範囲を広げるためにも**市町村域を超えた広域的な活動や取組も必要。**
- ・セミナーや情報交換会を望む声も多いものの、**県土が広いほか高齢の「サポーター」が多く、容易に参加できない。**



## 「結婚サポーター」のスキルアップ

## ○研修会の開催

県内関係市町村にもオンライン会場を設定するなど、**主会場以外でも参加、交流が行える形での研修会を開催した。**

## ○交流会の開催

サポーターの活動状況を4人から発表いただいたほか、質疑応答や意見交換を行い、**他地域のサポーターによる活発な意見交換が見られた。**

## ○マニュアルの作成

我が国の少子化と結婚状況の現状、ボランティア活動の内容、結婚支援業務の法的な問題等と事例集を掲載した。



**結婚サポーターの活動が活発化したほか、結婚サポーターによる任意団体が立ち上がった。**



## 縁結びボランティア「はぴこ」広域マッチング推進事業【島根県】

## 結婚支援ボランティアの育成、組織化・ネットワーク化

## 事業概要

- 結婚支援ボランティアのスキルアップを図る研修会の開催
- ボランティアの組織化、ネットワーク化**によるマッチング支援
- 交流会の開催による**ボランティア同士の連携強化**

1,742千円（令和4年度当初、実績額）  
2,420千円（令和5年度当初、見込額）



(大はぴこ会の様子)

## 特徴的取組・成果

## 縁結びボランティア「はぴこ」の育成

- 「はぴこ」の活動地区単位に合わせた研修会を年8回開催
- 相談対応スキル等の向上のため人権、個人情報漏えい防止、県内外の結婚に関する統計データ等活動に役立つ正しい知識の習得を図る
- マッチングシステムに関する研修も併せて実施



- 研修実施によるブラッシュアップにより、**結婚支援ボランティア個人の力量を最大限発揮し、相談体制の質を向上**

## 「はぴこ」の組織化・ネットワーク化

- 一般社団法人「しまね縁結びサポートセンター」が核となり、広域でのマッチングを推進するため、各地区からはぴこを招集し、地域を超えたマッチングのための情報交換を年15回行う。
- 年に一度、県内全域の「はぴこ」が一堂に会する「大はぴこ会」を開催し、「はぴこ」同士や行政職員の交流、情報交換を実施



- 組織化によって**ボランティア相談員のモチベーションが向上し、相談支援の取組が活性化**
- 定期会議や県全体の交流によってネットワークを強化し、**地域一体となって結婚支援に取り組む機運を醸成**

## 群馬県ライフデザイン支援事業【群馬県】

## 若者の主体的なライフデザイン構築を支援・発信

3,712千円（令和3年度補正、実績額）  
4,014千円（令和4年度補正、見込額）

## 事業概要

- **大学生等ターゲットとなる世代の意見を聴取して作成した**デジタル冊子を同世代の若者向けに発信
- 大学生と高校生がともに学ぶライフデザイン講座を実施

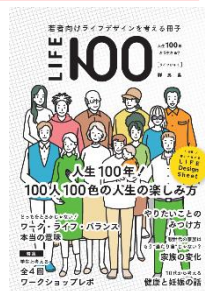


(ライフデザイン講座の様子)

## 特徴的取組・成果

若者向け「ライフデザインを考える」  
デジタル冊子「LIFE100」の制作

- 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」「仕事との両立」等ライフステージ毎に、専門家らの考え方やデータ、行政の結婚・子育て等に対する支援施策について、分かりやすく紹介
- **より効果的な内容・構成となるよう、企画段階から大学生等ターゲットとなる世代が制作に参画**
- 県内の大学等、若者向けのライフデザインセミナーを自主的に行う団体やライフデザインを考える若者個人の学びを支援するため、広くデジタル冊子として制作・公開



(デジタル冊子「LIFE100」)

## 高大連携ライフデザイン支援事業

- 大学と高校が連携することにより、学校の枠を超え、地域が一体となって若者の人生設計を支援するという体制づくりを推進
- 合計4回の講座で、高校生が261人、大学生が42人の合計303人が参加(延べ人数)



- 令和5年度
- ライフデザイン支援の取組を広げていくため、事業の様子を高校や大学の教職員等に公開共有
- 事業の実績を、各高校で生徒へのライフデザイン支援に活かせるよう展開

## 若者ライフデザイン・育児と仕事の両立体験事業【京都府】

## 仕事と育児の両立体験やワークショップ等によるライフデザイン支援

## 事業概要

- 「京都で働きながら子どもを生み育てる」ことを体験的に学び、  
**自らのライフデザインを考えるワーク&ライフ・インターン**の取組
- 府内企業へのプログラム導入支援、ワークショップ等で社会的機運も醸成

16,096千円（令和3年度補正、実績額）  
14,669千円（令和4年度補正、見込額）



(体験実習の様子)

## 特徴的取組・成果

## 仕事と育児の両立体験



- 長期プログラム(7日間)、短期プログラム(半日、1日の2種類)を実施
    - ・**長期プログラム**⇒京都府の企業で働く**子育て家庭を実際に訪問して学ぶ**
    - ・**短期プログラム**⇒**オンライン**で働くことと子育てすることの両方を**体験的に学ぶ**
- ※令和5年度は、短期プログラムでも、**子育て家庭訪問**を実施。

- 長期プログラムの子育て体験として、**子育て家庭への訪問**を行う  
⇒令和4年度はコロナ禍の影響を受けて、子育て家庭への訪問に代えて、**子連れコワーキングスペース**を利用した**体験実習**や**オンラインによる交流**を行った

- 長期及び短期プログラム参加総人数：**1,003人**
- 参加者のうち、「**長期的に働き続けるイメージがついた**」と回答した割合：**97%**
- 参加者のうち、「**仕事を続けながら子育てをしたい**」と回答した割合：**89%**

## ライフデザインワークショップ

- 学生や企業等に勤務する若手職員に、京都府オリジナル教材の「**人生年表ワークシート**」を用いて、自身の人生設計(ライフデザイン)について考えるワークショップ
- ライフデザインワークショップ実績：**40回2,115人**
- 参加者のうち、「**意識が変わった**」と回答した割合：**85%**

ライフデザインシミュレーション  
(デジタル教材)作成【R5新規】

- 若い世代がゲーム感覚でライフデザインをシミュレーションできる教材を作成
- 京都府オリジナル教材の「**人生年表**」をデジタル化
- ライフイベントに伴う費用や公的支援制度**を見える化

## 出会い・結婚サポート事業【新潟県新潟市】

企業との連携を含め地域が一体となって出会いから結婚までをサポート

999千円（令和4年度当初、実績額）  
1,000千円（令和5年度当初、見込額）

### 事業概要

- 独自に婚活支援を行う企業や団体が集結した新潟市婚活支援ネットワークを形成
- ネットワーク加入団体が主催するイベント等を市が認定及び後方支援
- 結婚応援パスポートにより、地域全体で結婚を応援する機運を醸成



### 特徴的取組・成果

#### 新潟市婚活支援ネットワークの形成

- 平成30年度に市の運営で開始、令和3年度からは、民間事業者による自主運営に切り替え、市はオブザーバーとして参加。
- ネットワークに加入している団体が定期的に参集し、それぞれが行っている婚活支援の取組やイベント情報を共有するとともに、意見交換を行う。

#### 市の役割

- ネットワーク加入団体が開催する出会い・婚活イベント、各種セミナーを認定
- 市民への情報提供や広報をサポート

■ R4年度認定イベント数 24件



婚活支援ネットワーク定例会の様子

#### 結婚応援 結（ゆい）パスポート事業の運営

- 新婚カップル等(①2年以内に結婚を予定しているカップル、②結婚後2年以内のカップル)に対し、地域の企業等の店舗において独自のサービスを受けられる「結婚応援 結パスポート」を、新潟市公式LINE等を活用して発行
- 【協賛店舗の例】地元スーパーチェーン、結婚式場(ホテル)、ジュエリー専門店、飲食店、ヘアメイク・美容、金融、ハウスメーカー、不動産業、整体院、家具店など
- 利用者及び協賛店を増やし事業を広めることで、「企業や地域、行政から応援されていると感じる」割合を高め、
  - ・結婚に対するポジティブなイメージ
  - ・地域における結婚を応援する機運 それぞれの醸成を図る。

- 結パスポート利用者数 約2,600人（令和5年6月12日時点）
- 協賛店舗数 137店舗（令和5年6月9日時点）

## 安芸市出逢いコンシェルジュ事業【高知県安芸市】

## 出会いイベントの開催や出会い・結婚に向けた機運醸成に取り組む“令和版お世話焼きさん”

## 事業概要

- 1対1のカップリングを前提としない**新しい形での出会いイベントの開催**
- 出会い・結婚を後押しする**地域の人材・企業・団体**を発掘し、支援体制を充実化
- 出会いイベント参加者へのアフターフォロー実施による**伴走型支援**



(結婚新生活支援事業の相談対応の様子)

## 特徴的取組・成果

## 出会いの支援

- **新しい形での出会いイベントの開催**  
1対1のカップリングを前提としない、気軽な異性との関係性づくり
- **出会いイベント参加者への伴走型支援**  
イベント参加者にアンケートを行い、希望者には相談等を実施
- **マッチングサポーター活動によるお引き合わせ**  
マッチングシステムに登録のある独身男女のお引き合わせ活動

イベント	目標値	進捗状況
	連絡先交換数 R4 3組	R4 8組(11人)



(気軽な出会いを応援する恋活イベントの様子)

## 地域の機運醸成

- **「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」の発掘**  
企業・団体を巻き込み、官民協働により少子化対策を促進
- **マッチングサポーターの発掘**  
出会いの支援を希望する独身者を応援するボランティアの発掘
- **出会い・結婚を考える世代を地域が後押しする地域づくり**  
地域の個人・団体が取り組む少子化対策の事例をチラシで紹介

応援団	目標値	進捗状況
	応援団登録数 R4 60団体(累計)	[R3] 24団体 R4 41団体

サポーター	目標値	進捗状況
	マッチングサポーター R4 3人	(累計) [R3] 0人 R4 3人

## 関係団体との連携

- **高知県等との連携活動**  
高知県が運営する「こうち出会いサポートセンター」と連携

- **市内応援団との連携活動**  
市内応援団(企業・団体)に本市の少子化対策等の取組を紹介

# 社会全体で結婚・子育て応援事業【長野県】

## 官民協働組織を中心に、総合的な機運醸成の取組を実施

### 事業概要

- 県民会議が実施主体となり、**官民協働による調査・取組を実施**
- 子育て家庭優待パスポートの認知度向上と協賛店舗拡大
- 「いい育児の日」「子育て川柳」の取組による**ポジティブイメージの発信**
- 「ながのパパ手帳」や企業同盟を活用し、父親の家事育児参画を促進

5,250千円（令和3年度補正、実績額）  
7,959千円（令和4年度補正、見込額）



←（ながのパパ手帳）

（「いい育児の日」  
ロゴマーク）↓



### 特徴的取組・成果

- 長野県が事務局を務める**官民協働組織「長野県将来世代応援県民会議」**(※)が実施

(※)県内の経済、労働、医療、福祉、教育等の幅広い分野の団体やNPO、行政機関等117の団体で構成

- 県民を対象とした結婚・出産・子育てに関する意識調査**(インターネット調査)を実施し、調査結果を活用して取組を検討

(ながの子育て  
応援企業同盟  
ロゴマーク) ↓



#### ながの子育て家庭優待パスポート

- ・企業等協力のもと、子育て家庭の経済的負担感等の軽減
- ・啓発物品配布や市町村広報紙掲載による認知度向上と協賛店舗拡大

#### 父親の家事育児参画促進

- ながのパパ手帳
  - ・男性の家事育児を応援するハンドブックを作成(R3年度)
  - ・一部市町村で「ながのパパ手帳」を活用した取組を実施予定(R4年度)
- ながの子育て応援企業同盟（参加企業数163社(R5.5末現在)）
  - ・ワークライフバランス実現のためのセミナーを開催

#### ポジティブイメージの発信

- 「いい育児の日」の普及啓発
  - ・11月19日を「いい育児の日」と定め、SNS・雑誌等によりPR
  - ・オンラインにより男性向け料理教室や、セミナーを開催。
- 子育て川柳
  - ・県民が子育ての喜びや楽しさ等を発信できる機会を創出
  - ・入賞作品は専用WEBページやSNSなどで公表

(子育て川柳  
入賞作品) ↓

子育てが  
夢中の内に  
親育ち

ながの子育て家庭優待パスポートの協賛店舗数：  
**5,562店舗(R3年度末) → 5,603店舗(R4年度末)に増加**

## 男性子育て推進事業【和歌山県】

県・市町が連携し、県下全域において男性の子育て参画を推進

### 事業概要

- 平成29年度から「わかやま結婚・子育て応援企業同盟」を結成し、  
**男性が家事、子育て等に積極的に参加できるための職場環境整備を推進**
- 対企業だけでなく对当事者**への啓発活動も重要であるため、**市町と連携し、当事者向け啓発事業にも注力**

1,065千円（令和4年度当初、実績額）  
3,408千円（令和4年度補正、見込額）  
※市町村事業予算除く



（わかやま結婚・子育て応援企業同盟発足式の様子）

### 特徴的取組・成果

#### 【県】

#### 企業に対して育休取得等推進事業を実施

- 同盟参加企業・団体に対し、下記事業を実施。
  - ・事例紹介集を作成し、優良事例等の横展開や情報共有体制を構築。
  - ・各種セミナーの開催。
  - ・個別課題解決のための講師派遣の実施。



（セミナーの様子）

#### 【同盟加入企業・団体数】

**641企業・団体**（R4年度末時点）

#### 【事例紹介集掲載件数】

**284件**（R4年度末時点）

#### 【職場環境の整備推進に役立ったと回答した企業】

**85%**（R4年度実績）



#### 【市町】

#### 当事者に対して男性の家事育児参加促進事業を実施

- 夫婦・パートナーがチームとして子育て・家事・仕事に挑む関係を築き、仕事と子育ての両立をかなえ、また家事・育児の孤立化を防ぐことを目的としたワークショップを行う。
- 両親学級等を実施し、妊娠期のカップルの参加を促進することで、男性の家事育児参画に繋げる。



（ワークショップの様子）

#### 【事業参画市町数】

**11市町**（うち交付金活用2市町）

#### 【仕事と子育ての両立について考えるきっかけとなったと答えた参加者の割合】

**84%**（和歌山市R4年度実績）

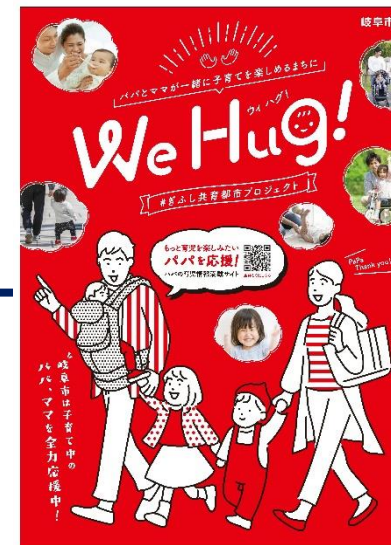
# ぎふし共育都市プロジェクト～男性の育児参画支援～【岐阜県岐阜市】

## 男性の育児参画を促進する取組を複合的に実施

13,409千円（令和3年度補正、実績額）  
6,619千円（令和4年度補正、見込額）

### 事業概要

- 「パパ大学」・「公開講座」で、**男性の家事・育児参画の必要性を伝える**
- 専用HPやSNS等でパパ、プレパパのための様々な子育て支援情報を発信
- 職場の理解**を深めるため、「ぎふし共育・女性活躍企業」を認定



↑(ぎふし共育都市プロジェクトポスター)

(「ぎふし共育・女性活躍企業」の認定マーク) →



### 特徴的取組・成果

#### 「パパ大学」・「公開講座」の実施

##### 【パパ大学】

○父親やこれから父親になる男性向けの育児に関する講座を実施するとともに、女性向けの講座も合わせて実施

■講座参加者の全員が、「**今後、家事・育児を積極的に実施していきたい**」と回答(回答数94件)(令和4年度実績)

##### 【公開講座】

○参加形式でのパパ大学の出張講座を実施。3人の子育てをしている芸能人をアンバサダーに起用し、トークイベントやパネルディスカッションを行い、男性の家事・育児参画の意識を高めるきっかけづくりを提供



(パネルディスカッションの様子)

■参加者数：**延べ484人**

#### 情報発信

- 専用HPにおいて育児参画に関する特集記事(インタビュー等)の掲載
- インターネット広告、SNS広告による事業のPR
- 子育て写真を募集し、パネル展を実施

#### 「ぎふし共育・女性活躍企業」を認定

○男性の育児参画や女性の社会活躍を応援する一定の基準をクリアしている企業を「ぎふし 共育・女性活躍企業」に認定  
【認定のメリット】企業のイメージ・知名度アップ 等

■**新規31社、更新31社の計62社を認定**(令和4年度実績)

○認定企業のうち、特に顕著な取組を行っている企業を「岐阜市男女共同参画優良事業者」として表彰



# 子どもとお出かけやさしいまなざし推進事業【熊本県】

## 「聞きなっせAI くまもと」によるLINEを活用した子育てサポート

4,906千円（令和3年度補正、実績額）  
5,568千円（令和4年度補正、見込額）

### 事業概要

○令和4年度から山口県と**新システムを構築(AIチャットボット)**し、結婚・妊娠・出産・子育てまでの情報を入手することができる新しいLINEアカウントを運用



### 特徴的取組・成果

- 妊娠・出産、病気、各種手当、保育園等、子育て全般の悩みに対して、**AIがLINEで24時間365日即回答**
- 県内全ての市町村の情報が取得可能(年2回定期的にFAQ更新、その他随時更新)
- 市町村において、母子手帳交付時、婚姻届の提出時にLINE登録の働きかけ  
(令和4年度末現在：**LINE友だち登録数 9,998人**)
- 位置情報から、**結婚応援の店(県内308店舗)**、**子育て応援の店(県内2,254店舗)**  
**及び医療機関を簡単に検索できる機能**



令和5年度に多言語対応機能(英語、中国語(簡体字／繁体字)、韓国語、フランス語の5か国語)を追加予定

(広報用チラシ)

# 子育て応援団登録団体の協力による子連れ外出支援【大阪府豊中市】

3,532千円（令和3年度補正、実績額）  
6,009千円（令和4年度補正、見込額）

「とよなか子育て応援団」登録制度による子連れ外出しやすい地域づくり、子育てに温かい機運醸成

## 事業概要

- 授乳・おむつ替えスペース等の子育て家庭に配慮したサービスを提供する店舗等を「とよなか子育て応援団」として登録（231団体 R5.3.31時点）
- ロゴマークを作成**し、登録事業者にステッカーやグッズ等を配布
- 登録団体の増加、市民に関心を深めてもらうことを目的に、**ステッカーや応援団バッジなどの啓発グッズや、PRのための冊子や動画を作成**

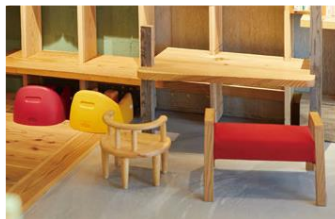


（子育て応援団ロゴマーク）

## 特徴的取組・成果

### 登録団体の主な取組

- ・授乳スペース、キッズスペース（遊び場）、多目的トイレなどを設置
- ・こども向けメニュー、こども用の食器などを提供
- ・こども用カート、絵本・おもちゃの貸出し、託児サービスなどを提供
- ・無料、低額の親子サークルを開催 など



### 登録制度・団体の認知度の向上を図る取組

- ・登録団体の取組や、利用者の声を掲載したガイドブックを作成し、登録の店舗等で配架、市内こども園等・乳児家庭全戸訪問時に配布



- ← 動画も作成し、公式YouTubeや子育て支援センターのデジタルサイネージでPR

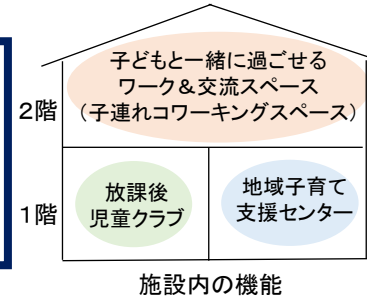
# 複合型子育て拠点みらいてらすを活用した子連れ コワーキングスペースのモデル実施事業【静岡県富士市】

多様な働き方を応援～「子どもが遊べる・楽しめる」×「子どもを連れてワーク」～

12,000千円（令和3年度補正、実績額）  
14,000千円（令和4年度補正、見込額）

## 事業概要

- 複合型子育て拠点みらいてらすに設置した、**子連れコワーキングスペースの運営管理**
- 施設の**利用促進、賑わい創出**
- 施設を拠点とした**富士市版子連れコワーキング推進モデルの創出**



## 特徴的取組・成果

### <政策的な狙い>

- 未利用となった公有財産の有効活用事例の創出
- 子育て施策、移住定住施策等の連携による相乗効果発揮
- 多様な働き方と女性活躍の推進
- 市の子育て環境のイメージ向上（施設や取組の情報発信）

### 子連れコワーキングスペースの運営管理

- 運営受託会社のスタッフ2名常駐（平日週5日間開所）
- 各種運営マニュアル整備、利用状況の集計・統計化
- 施設リーフレットなど各種広報物作成 ほか



▲ウェブサイト



▲Instagram

### 利用促進、賑わい創出

- 親子向けイベントの開催（25回開催、214人参加）
- 大規模イベント「マルシェ」の開催（2回開催、約1,300人来場）
- SNS（Instagram・LINE等）による情報発信（250回超投稿）
- 専用ウェブサイト制作（イベント情報、スタッフブログ随時掲載）
- ウェブニュースへのプレスリリース配信（29媒体に掲載）

### 富士市版子連れコワーキング推進モデルの創出

- 見守り託児DAYの実証実施（毎週1回開催、192人利用）
- 多様な働き方普及講座の開催
  - ・市民向け（2回開催、28人参加）
  - ・企業向け（4回開催、36人参加）
- 企業協働によるモデル事例創出（アンケート調査1,130人回答、企業ヒアリング2社、モデル利用パターン考察など）

<実績> 来館者数 **5,085人**（子連れコワーキングスペースのみ）

## 赤ちゃん授業～赤ちゃんと小中高生・大学生等との交流事業～【徳島県】

1,918千円（令和3年度補正、実績額）  
2,016千円（令和5年度当初、見込額）

## 学生が乳幼児との触れあいやその親との交流を体験する機会の提供

## 事業概要

- 小・中・高・大学で、生徒の発達段階に応じた赤ちゃん授業を実施
- 生徒と親子の交流はオンラインで実施（子育て支援拠点等を活用）**
- 父親が参加し、育児について発信することで男性の育児参画を促進**



（生徒と親子のオンライン交流）

## 特徴的取組・成果

乳児と接した経験がない児童が増え、次代の親となる若い世代が「結婚・妊娠・子育て」を考え理解を深めるための機会の創出が必要。

## 「赤ちゃん授業」・「事例研修会」の開催

## 「赤ちゃん授業」

- ・①助産師の講義②赤ちゃんとの接し方等の実技③参加赤ちゃんの2～3ヶ月前の動画の視聴④**オンラインを通じて生徒と赤ちゃん親子の交流**

## 「事例研修会」

- ・赤ちゃん授業が生徒にもたらす教育効果・運営手法等について関係機関で情報共有

子育ての楽しさや  
大変さの理解

親への感謝や  
命の大切さの理解

男性の育児参画に  
ついての理解

赤ちゃん親子が  
地域と繋がる場  
の提供

実際に交流することで  
赤ちゃんの成長への  
理解

## 参加者の声

## 【生徒】

- ・母親とのやり取りで、命の尊さや出産、育児の大変さを学ぶことができた。
- ・将来結婚して子どもができた時、いい父親になれるように頑張りたいと思った。

## 【担当教諭】

- ・普段の授業では体験できないことや交流ができたことで、生徒が、将来自分が築く家庭のイメージが持てたように感じた。
- ・プログラムの構成がよかった。

## 【赤ちゃんの親子】

- ・生徒や、他の家族との交流が楽しかった。
- ・改めて夫婦で子育てについて話すきっかけとなった。

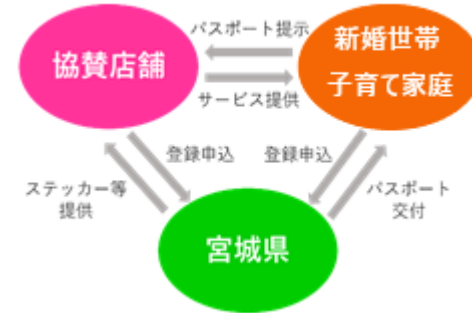
10,906千円（令和3年度補正、実績額）  
8,800千円（令和4年度補正、見込額）

## 結婚・子育て応援パスポート事業【宮城県】

県と企業・店舗が連携し、新婚世帯及び子どものいる世帯が対象の応援パスポート事業を実施

### 事業概要

- 事業の対象者を「新婚世帯」に拡充し、**結婚、妊娠・出産、子育てを切れ目なく支援**
- 店舗拡大にあたっては、**ブライダル業界を中心にアプローチ**
- 「結婚応援パスポート」開始に伴い、情報誌やSNS等で幅広くPR



### 特徴的取組・成果

#### 結婚応援パスポート

- ・令和4年11月22日（いい夫婦の日）にスタート
- ・ブライダル、飲食店、衣料品店、不動産業などが協賛し、料金割引、ポイントサービスやドリンクサービスを実施
- ・登録店舗数（令和4年度末時点）  
⇒**245店舗**
- ・協賛店舗にはステッカー、ミニのぼり、利用者・店舗向けリーフレットを作成し、配布

（パスポート画面）



（店舗用ステッカー）

（店舗掲示用のぼり）

#### 子育て支援パスポート

- ・登録店舗数（令和4年度末時点）  
⇒**2,525店舗**
- ・令和4年度新規登録店舗数  
⇒**150店舗**
- ・料金割引や授乳室などの各種サービスを実施
- ・子育て家庭向けフリーペーパーに事業案内を掲載
- ・Facebookを活用した情報発信  
⇒24店舗の特典を紹介
- ・協賛店舗にはステッカー、ミニのぼり、利用者・店舗向けリーフレットを作成し、配布

（パスポート画面）



（店舗用ステッカー）

（店舗掲示用のぼり）

# WEラブ赤ちゃんプロジェクト事業【千葉県佐倉市】

875千円（令和3年度補正、実績額）  
1,100千円（令和4年度補正、見込額）

## 地域で子育てを応援する機運醸成を図る取組を実施

### 事業概要

民間事業者の提唱する「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」に賛同（**県内自治体初**）

○バラエティ豊かな**オリジナルグッズの製作**

○オリジナルグッズを活用した**周知・啓発**

○市内の多様な業種の団体に対する**事業賛同の働きかけ**



### 成果

#### ▶賛同団体数

25団体（R4年2月）

→**42団体**（R5年3月）に増加

#### ▶ホームページPV数

771回（R4年2月）

→**10,968回**（R5年3月）に増加

### 特徴的取組・成果

#### オリジナルグッズの製作

○チラシ、ステッカー、缶バッジ、キーホルダー等のオリジナルグッズを製作



（配布先や設置場所に応じたグッズ作成）

#### 啓発・周知

○著名人（佐倉親善大使）の協力  
○子育て応援メッセージ&エピソード募集



（エピソード募集受賞式の様子）

#### 事業賛同の働きかけ

○コンビニ、飲食店等多様な業種の賛同  
○市内企業への研修



（バス会社の協力で車内にポスター掲示）

子育て世代を応援する思いを「見える化」し、地域全体で子育てしやすい環境の整備を推進

## 結婚新生活支援事業(都道府県主導型連携コース)【滋賀県】

## 県と市町・関係団体が連携して結婚・子育てを応援する機運を醸成

## 事業概要

- **あいはぐプロジェクト応援団ネットワーク協議会**を通じた情報共有と連携
- 「滋賀で結婚」の希望が叶う、**オンライン型「しが・めぐりあいサポートセンター『しが結』」**の運営
- **アプリやSNSを活用した子育て家庭の見守り体制**の整備

あいはぐプロジェクト応援団事業  
1,100千円(令和5年度当初、見込額)  
しが出会いサポート地域連携推進事業  
19,683千円(令和4年度補正、見込額)  
子育て家庭地域見守りサポート事業  
9,034千円(令和4年度補正、見込額)  
結婚新生活支援事業都道府県主導型  
市町村連携コース【県内16市町】  
137,300千円(令和4年度補正、見込額)

## 特徴的取組・成果

## 県、市町、関係団体等の連携体制

R3～実施

## あいはぐプロジェクト応援団ネットワーク協議会

- 県と若者の出会いの場づくりを応援する自治体、企業や団体で構成したネットワークによる協議会を設置
- 結婚新生活支援事業を含む結婚支援や人口減少対策の取組みを情報共有



■ 事業実施市町の増により、県民の結婚新生活支援事業認知度が上昇、報道で取上げられる機会の増加

(～R2:6市町→R3:12市町→R4:15市町→**R5:16市町**/全19市町)

→結婚支援を応援する企業・団体の増



← (地域情報誌等での広報)



## 自治体間連携を伴う広域な結婚支援の取組

R4～実施

## オンライン型「しが・めぐりあいサポートセンター『しが結』」の運営

- AIを活用したマッチングシステムの構築
- 会員登録から成婚までオンライン上でサポート
- 市町で活動する結婚相談員と連携したサポート



## ■ 市町や関係団体との連携

- ・会員登録会の共催
- ・結婚支援を実施している市町や関係団体では、更に、結婚相談員の掘り起しや婚活イベントの共催等

## 大綱を踏まえた子育てに温かい社会づくりの取組

R2～実施

## アプリやSNSを活用した子育て家庭の見守り体制の整備

- 子育て支援情報発信の仕組み・相談体制の構築
- ・アプリを活用した子育て支援情報の発信
- ・LINE相談「こころのサポートしが」を活用した市町と連携した相談対応

(ハグナビしがアプリ)



## 結婚新生活支援事業【うきは市】

6,916千円（令和3年度補正、実績額）  
9,000千円（令和4年度補正、見込額）

## 効果的な広報及び窓口案内による認知度向上、支給世帯増

うきは市 人口 27,942（R5.5末）

## 事業概要

- **様々な媒体**を用いた事業広報を実施  
（チラシ、ポスター、防災行政無線、広報紙、市HP、市公式LINE）
- 婚姻届を受理する市民課から補助金を担当する企画財政課へ受付案内をフォロー
- 窓口で申請書作成をサポートし、夫婦で考える家事分担表（県作成）の説明、啓発も行う



（広報用ポスター）

## 特徴的取組・成果

## 様々な媒体を用いた効果的な事業広報

- 広報紙への掲載や防災行政無線による定期的な周知

⇒ 夫婦の親世代への認知度が高まる

- 商工会と連携し、市内の商工会加盟事業所800件にチラシを配布・周知

⇒ 職場での事業案内を目指す

- 事業案内チラシに、**必要な申請書類の情報**が分かりやすいよう、チェック項目を設ける等、申請手続きをサポート

申請に必要な書類		
No.	書類	取得先
①	結婚新生活支援補助金交付申請書（様式第1号）	うきは市HPの窓口
②	夫婦の記載のある戸籍謄本もしくは結婚届受理証明書	市市民課
③	夫婦それぞれの申請日時点における世帯の所得証明書（市長が交付するものに限る）	市市民課 市立公民館 市民課
④	新婚世帯員の住民票簿	うきは市 市民課
⑤	滞納のない証明書（次・票の2枚）	うきは市 市民課
⑥	※結婚を機に籍無し、申請時に別居期間の場合 監約書及び離婚したことがわかる書類（離婚票、退職証明書など）	契約書→うきは市HP
⑦	※養育型奨学金の返済を行った場合 貸与型奨学金の返済額が分かる書類（所得証明書の期間と同一期間の返済額が分かる書類を用意してください）	
⑧	※住宅購入の場合 物件の売買契約書（支払いを既に行っている場合は、領収書）	
⑨	※住宅賃借の場合 物件の賃貸借契約書（支払いを既に行っている場合は、領収書） （口寄せ引当金の場合は、通帳印）	
⑩	※リフォームの場合 工事請負契約書が請求（支払いを既に行っている場合は、領収書）	
⑪	※住宅賃借の場合 住宅手当支給証明書（様式第2号）	うきは市HPのワンストップ窓口または市民課
⑫	※引越し・費用の場合 引越しに係る領収書	

※上記以外にも、市長が必要と認める書類を提出していただく場合があります。

Q1 レンカーを借りた場合、友人に頼んで引越した場合は引越し費用は対象になりますか？  
A1 対象ではありません。引越し業者等に依頼したものが対象です。

Q2 自分たちでフォームに入力した場合も、かかった費用は対象になりますか？  
A2 業者に依頼し、見積書又は請求書があるものが対象です。また、倉庫や車庫、門、フェンス、植栽等の外構にかかる費用や電車の購入・設置費用は対象外です。

Q3 再婚は対象になりますか？  
A3 夫婦のどちらか過去にこの補助金（他自治体含む）を受けたことがなければ、対象になります。

◎対象要件の確認など、ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

（事業案内チラシ裏面）

## 婚姻届の提出から補助金申請まで

婚姻届を提出した夫婦へ、**年齢要件を満たす場合は、事業案内チラシを配布。時間が許せばそのまま事業担当課へ案内。**

事業担当課で制度概要、必要書類を説明、資料交付

申請書類の提出時に家事分担の啓発を併せて実施

手続きの流れを市民課窓口と共有し、パターン化

認知度の向上、支給世帯実績の増加

3件（H28年度）→10件（R1年度）→24件（R3年度）→27件（R4年度）